



# 三春中学校だより

第 26 号

発行日 平成30年 8月27日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

## 【田村地区中学校音楽祭開催！ ～音楽を通してさまざまな交流が図られました。～】

8月22日(水)、田村市文化センターにおいて、平成30年度第72回田村地区中学校音楽祭が開催され、田村地区内の中学校9校の、合唱・吹奏楽の音楽に興味・関心のある中学生が一堂に会しました。本校よりも、特設合唱部と吹奏楽部が参加してまいりました。

各市町の教育委員会の教育長様・指導主事様をご来賓に、3名の先生方を審査員にお迎えし、開会式が行われ、直後の第一演奏団体が本校特設合唱部でした。

課題曲と自由曲の2曲を演奏いたしました。9校の課題曲を聞き比べるとそれぞれの学校の特色が出ていて、(同じ曲でもいろいろな表現の仕方があるんだなあ。)と感心しました。でも、三春中の“味付け”が、いつも聞いているせい、いちばんしっくりと、そして、すばらしく聞こえました。9校の演奏が終了した後は、全体合唱ということで、会場内の中学生が一斉に課題曲「G i f t s」を大合唱。それぞれの学校で一生懸命練習してきたその努力を讃えながら、音楽を通して田村地区の中学生がその心を通わせていました。いつもながらすばらしい演出に感動いたしました。

午後は「合奏の部」で、3校の3番目に登場して演奏し、日頃の練習の成果を発表しました。学校での練習の時から、楽器を自由に操り、自分たちで話し合っよりよい音楽づくりに取り組む子どもたちを敬意をもって見ていますが、とてもすばらしい演奏であり、一人ひとりがとてもよくがんばっていました。職員合唱「花は咲く」の演奏を挟んで、フィナーレは、吹奏楽と合唱による全員演奏。「翼をください」を各校吹奏楽部よりの選抜メンバーの演奏でリードしました。

音楽を通して、田村地区の中学生がつながり、さまざまな交流が図られました。また、音楽を志し、懸命によりよい演奏を求めて努力を重ねる生徒たち、その意欲を専門的な指導で引き出す顧問の力が相まって、各校ともすばらしい演奏となっていました。田村地区全体の音楽文化の振興を願わずにはいられませんでした。

一方、この音楽祭は、第85回(平成30年度)NHK全国音楽コンクールの予選も兼ねており、本校特設合唱部は、見事、“優秀賞”そして、“県大会”の出場権を得て、8月30日(木)に、福島市音楽堂で行われる県大会に参加してまいりますので、こちらも応援よろしくお願いたします。



【以下のような点に留意し日々の指導に臨みます！～またよろしくお願ひいたします。～】

みなさまには、これまで、三春中学校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございますございました。子どもたちと同様に、学校といたしましても、これまでの学校経営・指導において、うまくいった点、課題が残った点、さまざまな振り返りを教職員でいたしました。

その結果、夏休み以降は、以下のような点に留意し、『ひたむきに、そして、こころ豊かに』、子どもたちの『命の輝き』を一つでも多く育むことをめざし日々の学校経営・指導にあたらうと確認いたしました。

みなさまにおかれましても、これまで同様、三春中学校の教育活動・指導にご理解・ご協力をたまわりますと共に、忌憚のないご意見・ご感想等を学校にお寄せいただけますようどうぞよろしくお願ひいたします。

【『学校経営方針』に関する評価結果をもとにした改善方策について】

1 評価の低かった項目

(1) 学校経営の方針

基本方針 生徒に、『ひたむきさとこころの豊かさ』を指導し、生徒一人ひとりがそれぞれの『命の輝き』をもって生活している。

(2) 内容

- ① 三春中学校でのよりよい教育・健全育成のため『連携・コミュニケーション』に努めている。
- ② 全教育活動の土台に『命のかけがえのなさ』を据え、日々の教育活動にあたっている。

(3) めざす教師像について

- ① 生徒の可能性を信じ、決めつけず、『必ずいつかはできるようになると信じ』、日々の指導にあたっている。
- ② 生徒の姿を冷静に見つめ、自尊感情が育つよう、『よさを認め、励ます指導』に努めている。
- ③ 教師同士が建設的に語り合い、それぞれの個性を發揮しながら、『よりよい生き方について範を示し』ている。
- ④ 生徒と共に学び、学んだことが実感できる場があり、『生徒と教師が共に成長していけるような学校づくり』に努めている。

(4) 不祥事防止について

- ① 一人ひとりの生徒を大切に、地域とのふれあいも大切にしながら、『信頼関係の醸成』に努めている。

2 各項目に対する改善方策（具体的には、太字ゴシック体の点に特に留意してまいります。）

(1) 学校経営の方針

基本方針 『ひたむきさとこころの豊かさ』を意識して指導し、すべての生徒一人ひとりに、それぞれの『命の輝き』をもたせる。

・集会での校長の話 ・「ひたむきさ」、「心の豊かさ」を内容とした道徳と学活の実施

(2) 内容

- ① 三春中学校でのよりよい教育・健全育成のため、『連携・コミュニケーション』に積極的に努める。  
・「相談・連絡・報告」の重視・励行 ・先輩と後輩の間の教わる、伝える関係の醸成
- ② 全教育活動の土台に、『命のかけがえのなさ』を据え、日々の教育活動にあたる。  
・自他の命や人権に関わる問題行動への毅然とした対応  
・「命のかけがえのなさ」を内容とした道徳と学活の実施

(3) めざす教師像について

- ① 生徒の可能性を信じ、『必ずいつかはできるようになると信じ』、日々の指導にあたる。  
・夏休み確認テストの活用と期末テストへのつなぎ ・個別指導の実施・充実  
・繰り返しと積み重ねの効果の担任からの講話
- ② 生徒の自尊感情が育つよう、『よさを認め、励ます指導』に努める。  
・学級だより等での夏休みの成果の意図的紹介 ・各種コンテストへの積極的参加・出品  
・職種間、通常学級担当と特別支援学級担当間の積極的交流・コミュニケーション
- ③ 教師同士が建設的に語り合い、それぞれの個性を發揮しながら、『よりよい生き方について範を示し』ている。  
・人生の師として教え導くという教育公務員としての役割の再確認  
・自信をもって。“むしろ鶏口となるも牛後となるなかれ”
- ④ 生徒と共に学び、学びを実感できる場を意図的に設定し、『生徒と教師が共に成長していける学校づくり』に取り組む。  
・人事評価シートの再確認と教育公務員特例法第21条「研究と修養」の自覚  
・子どもの将来を見据え、自信をもって。“むしろ鶏口となるも牛後となるなかれ”  
・学校事務に関する研修と理解の促進

(4) 不祥事防止について

- ① 一人ひとりの生徒、地域とのふれあいも大切に、『信頼関係の醸成』に努める。  
・実態に基づく指導を明確にもった生徒、保護者との意図的コミュニケーション  
・教育公務員、三春中学校の一員としての自覚をもった勤務